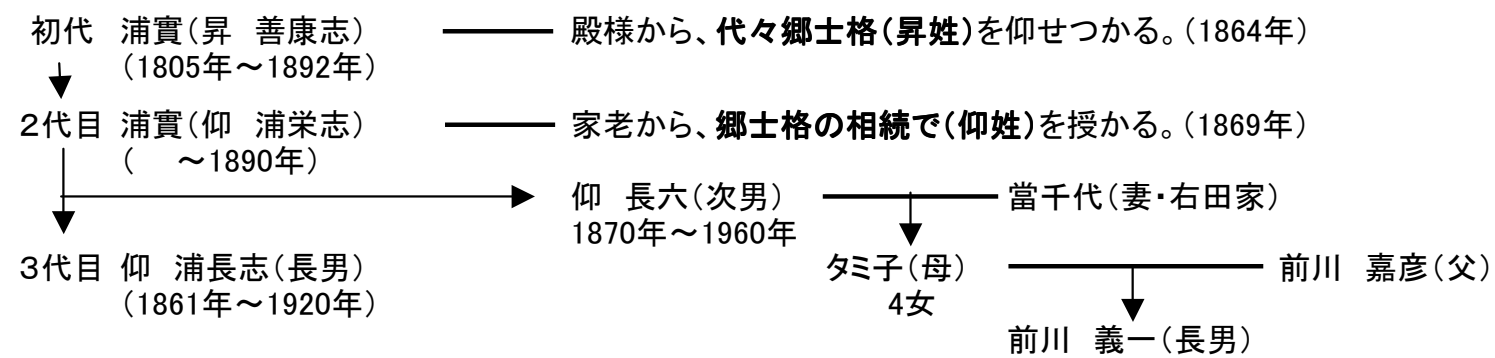


## 浦實衆(うらざねしゅう)の系譜 奄美大島(芦花部)



### <浦實の役職>

- |              |                           |              |
|--------------|---------------------------|--------------|
| 1832年(天保3年)  | 笠利間切 赤木名方 一重津口横目(船の出入り監視) | (善康志)        |
| 1836年(天保7年)  | 加計呂麻島 渡連の横目(安脚場を開拓)       |              |
| 1838年(天保9年)  | 笠利間切 赤木名方 黍横目寄役           |              |
| 1840年(天保11年) | 笠利間切 笠利方 黍横目              |              |
| 1842年(天保13年) | 笠利間切 笠利方 横目寄役             |              |
| 1844年(天保15年) | 笠利間切 赤木名方 一横目             |              |
| 1846年(弘化2年)  | 笠利間切 赤木名方 一人寄役            |              |
| 1847年(弘化4年)  | 名瀬間切 古見方 一人寄役             |              |
| 1856年(安政3年)  | 笠利間切 赤木名方 一人寄役            | 水野 忠邦 老中になる。 |
| 1857年(安政4年)  | 笠利間切 笠利方 一人定役に昇進          | 安政の大獄(安政5年)  |
| 1859年~1862年  | <b>西郷 隆盛</b> (奄美大島での潜伏期間) |              |
| 1865年(元治2年)  | 名瀬間切 龍郷方 一人               |              |
| 1867年(慶應3年)  | 名瀬間切 龍郷方 一人を退役            | 坂本 竜馬 船中八策   |
| 1868年(明治維新)  | 笠利間切 笠利方 一人を退役            | (善康志)        |
| 1869年(明治2年)  | 鹿児島で、家老から郷士格相続で仰姓を授かる。    | (浦栄志)        |
| 1871年(明治4年)  | 廃藩置県で藩政の終わりを迎える。          |              |

<b>&lt;西郷 隆盛 奄美大島潜伏&gt;</b>	
1859年1月(安政6年)	西郷 隆盛が、菊池 源吾の名で奄美大島の龍郷に上陸
1859年11月	愛加那と結婚
1860年～1861年	半年ほどを芦花部の島役人(浦實)の役人宿所で過ごし、1860年師走に 浜に打ち上げられた、鯨の捌き方を指導するなど、集落の人々と交流があった。 <span style="float: right;">(善康志)</span>
1861年1月(文久元年)	菊次郎誕生
1861年11月(文久元年)	竜郷村に新家屋落成
1862年1月(文久2年)	村田 新八と共に西郷が鹿児島へ戻る